

宝塚市議会報告

本気の力！市政を変える。VOL. 14

—私たちのまちは、私たちでつくる。—

〒665-0033 宝塚市伊子志2丁目17-8-4F TEL&FAX:0797-72-2130

Topic

- ☑ ご挨拶 「歌劇のまち宝塚条例」可決
- ☑ 12月議会報告（一般質問）
- ☑ 12月議会討論内容
- ☑ 自主カットを松江市に寄付
- ☑ メルマガのご案内 いとう順一プロフィール
- ☑ いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会から捻出し、政務活動費は使用していません。



宝塚市議会議員 **いとう 順一**（新風宝塚改革の会）

ご挨拶（12月議会報告）「歌劇のまち宝塚条例」可決

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

宝塚市議会では、平成26年第5回市議会(12月定例会)が、平成26年11月12日～平成26年12月18日(37日間)の日程で閉会しました。

今議会も、様々な案件がありましたが、最終日に「歌劇のまち宝塚条例」が、議員提出議案として提出され可決しました。

平成25年12月の一般質問で、宝塚歌劇について、一部のファンだけでなく、「宝塚歌劇がある街、宝塚市」をPRし、市民が応援できる状況を、条例制定によって創出するべきと、一般質問をさせて頂きました。

条例としては、当局が率先して作りにくいということでしたので、本年より議会改革の一環で始まった政策研究会の初めてのテーマとして、「宝塚歌劇を市民が身近に感じる政策の研究会」の設置を、議会に申請しました。

設置が認められ、この政策研究会の、設置申請者として副会長を任命され、取りまとめに非常に苦労しましたが、平成26年3/26から6/24の間、立場や意見の違う8人の議員が一字一句にこだわりながら共同作業で、6月議会条例案提出を目標に、前文・条文を完成させた後、会派代表者会議に提出されました。

しかし、会派代表者会議で異論が出され、その後代表者会議の中で議論を重ね、一部訂正を加え、平成25年の一般質問から丸1年かかりましたが、ようやく条例案が可決され、日の目を見ることになりました。

平成26年は、宝塚歌劇100周年という事で大いに盛り上がりましたが、本条例可決を機に、今後も、市も市民も市内事業者も一体となって、宝塚歌劇のあるまち宝塚市と宝塚歌劇文化を盛り上げて行ければと思うところです。

また、平成26年10/29～10/31の3日間、パシフィコ横浜で開催された、『社会イノベーション/Smart City Week 2014』に参加して参りました。

日経BP社が主催したこの「Smart City Week 2014」は、新たな“明日”を切り開き、日本を豊かな未来の社会を生み出す場、にしていけるには、何が必要か、といった観点で講演や、その技術を支える各企業の技術や自治体の取り組みの展示がなされ、3日間フルで講演を傍聴し、展示会も見て、最先端の技術に触れさせて頂きました。

我が市も Smart City Week に参加している先進自治体に、遅れを取ることなく、取り組みができるように願いながら、今回も12月議会一般質問をさせて頂きました。

今後も、宝塚市が住みやすく、市民が誇りを持てるまちにするために、全力で頑張る所存ですので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ブログ随時更新中！ <http://jito.jp>（携帯でも閲覧できます）

いとう順一の活動や考え方を、週3日～4日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。